



情報発信のプロを目指す人は、他人とは一味違う情報発信を目指すべきである。この人たちの為に、情報発信のための「宝の山の見つけ方」を提示したい。今回は、報告されていない情報、未確認の情報のチェックについて紹介する。

第四十二話 情報発信のための「宝の山」の探し方

① 多面的な検索をする

検索エンジンが登場し、検索エンジンはコンピュータによる機械的な検索が主流になった。多くの人が求める情報は簡単に収集できる反面、不要な情報も沢山検索される。

問題は、プログラムを利用した機械的な検索のため、誰もが似たような情報しか得られなくなり、他人と一味異なる「宝の山」を、発見しづらくなっている。

検索エンジン依存の効率一辺倒の検索法から、色々な検索方法を独自に組み合わせた多様な検索法への切り替えが必要となる。具体的には、コンピュータ重視より人手重視の検索法をも加味し、更に個人的工夫を重ねることである。

人手重視の検索として、最近注目を集めているのが、キュレーターによる「キュレーション検索」である。キュレーターとは、博物館・美術館・図書館・公文書館のような組織体で、収集資料の整理や分析・研究を行う専門家や管理者をさす。

この種のサービスは、{キュレーション ランキング}、{キュレーション おすすめ}、{キュレーション 人気の}といったキーワードで、グーグル検索すればよい。人気のあるサービスには、「Togetter」やNAVERまとめ」他がある。

人手による情報収集としては、昔からある様々な「リンク集」や「ランキング・サイト」を探しておくことも大切である。{X X X リンク集}と検索すれば、X X Xに関する沢山のリンク集が見つかる。

② 未報告の情報を探す

政府・官公庁の公式発表、企業発表、学者・研究者の論文、市販された書籍、新

聞記事に到るまで、すべてに未報告・未発表の部分がある。報告者にとって「不都合な真実」の部分は、意図的に伏せている可能性が高い。ここが宝の山になる。

水面下にある未発表の情報を、どのように探すか。最も簡単な方法は、対極に位置する資料を探すことである。シソーラスでいえば、反意語、反対語 対極語 対語を見つけて、キーワードとして追加して、検索することである。

対語の例としては、賛成と反対、推進と阻止、薬と毒、安全と危険、男と女、老人と子供、国内と海外、定説と新説などなど。これらを簡単に見つけるには、ネット上の対語事典、同意語辞典といったシソーラスの辞典を利用すればよい。

対極にある資料同士を比較すれば、お互いに記載されていない部分が、簡単に見つかる。一方にしか記載されていない部分が、潜在的な宝の山というわけである。それを手がかりにして、次の検索に進むのである。

次に、立場の異なる情報源に当たることである。日韓問題や日中問題であれば、韓国や中国の情報源を見つけることである、韓国や中国の情報は、日本語のサイトも沢山ある。現地語の場合は、検索エンジンの翻訳機能を使えば入手できる。

原発問題であれば、推進派、阻止派、中立派のそれぞれ異なる立場の情報源からの資料を集めて比較検討すればよい。学術情報などの場合も、例外ではない。メタボリック・シンドロームのような場合、国や学会によって扱いが大きく異なっている。各国の監督官庁、関係学会、研究者のサイトを、チェックすればよい。

③ 未確認情報をチェックする

インターネットの世界は、玉石混淆とかゴミの山とか言われる。この理由のひとつが、「未確認な情報」、「非常識な見解」、「無責任な発言」などにある。しかし、ここにも、「宝の山」がある。このなかで、未確認の情報は、差別化できる情報発見の宝庫である。既存の大手新聞社や主要テレビ局のニュースも、事実確認や事実のチェックがされていない未確認情報が、沢山存在する。

たとえば、「～と推測される」、「～と考えられる」、「消息筋によると、...」、「～が伝えるところによる」といった表現部分は、すべて未確認、憶測情報である。この情報の裏づけをとれば、「宝の山」に近づける可能性が高い。

マレーシア航空 307 便の遭難事故のように、大事件発生直後のマスコミ情報は、未確認情報、憶測情報の山である。この種の事件では、著名な専門家の権威を借りての推測や、引退した高級官僚による談話などで、紙面を誤魔かす場合が多いが、これらは、すべて未確認の憶測情報に過ぎない。

ただし、これらの未確認情報の裏づけは、少し時間が経過して事件の経緯がわかってきてからでないと、事実関係のチェックはできない。書き手としては、この種の情報発信にはタイミングが大切となる。世間が関心を持っている段階で、かつ事実関係について情報が得られるようになる時期というタイミングが求められる。

いずれにしても、未確認の情報を宝の山にするには、原石を発見するだけでなく磨いて宝石にする作業が不可欠となる。裏づけ作業は手間隙がかかるのである。